

令和7年度 椎葉村立椎葉小学校 「学校評価」アンケートにおける自己評価・学校関係者評価書

(4段階評価) 4:とてもそう思う(A) 3:そう思う(B) 2:そう思わない(C) 1:全くそう思わない ■:わからない(評価できない)

本年度の努力目標

(1 夢いっぱい「学力及び学習意欲の向上」 2 笑顔いっぱい「心の育成」 3 元気いっぱい「体力の向上及び健康教育」 4 家庭や地域との連携・協働「学校運営協議会との連携、地域に開かれた学校づくり」 5 「先生方の働きがい」)

評価項目	評価指標	児童	保護者	教職員	学校の自己評価結果のコメント	自己評価	学校関係者	関係者評価コメント
夢いっぱい	① 学校は、教室や教材、ICT(タブレットなど)をうまくつかって、子どもの学力や学びたい気持ちをあげようと努めていますか。	92.1	89.3	77.7	○質問①において児童と保護者・教職員との差異が見られる。各授業では、教科書や資料集等の紙を媒体としたアナログの面と、デジタル教科書や Google を使ったデジタルの面とを使っている。今後「指導の個別化」「学習の個性化」について、職員研修等とおして職員の指導力向上に努めていきたい。 ○質問④について学校経営ビジョンの核である「チャレンジ」を意識することができた結果と考える。一方で、児童が困った時に「教えて」と発することができるよう、学校・保護者が連携する等した仕掛けを講じていきたい。 ○質問⑤から、椎葉村学や地域素材を生かした授業(生活科、総合の福祉・環境等)が充実したことで昨年度と同様に高評価を得ている。	3	3	・ICTをうまく授業に生かした授業が進められています。 ・複式指導においてもICTの活用により短時間で進められていると思います。 ・タブレット使用の際の姿勢は注意が必要だと思います。
	② 学校は、子どもが分からないときに分かるまで教えたり、友だちと意見を出しあう学習をとおして、「分かる・できる」ようになる授業をしたりしていますか。	92.8	82.2	80.0				
	③ 学校は、授業の中で、学習の「構え」や「準備」などといった態度やルールが身につくようにしていますか。	96.4	92.8	87.5				
	④ 学校は、学校の生活の中で、子どもが夢や希望をもって努力し、チャレンジできるようになるようにしていますか。	92.8	85.8	83.3				
	⑤ 学校は、「ふるさとのよさ」にきつき、「ふるさとを愛する心」が育つようにしていますか。	100	85.7	90.0				
	⑥ 学校は、保護者と協力し、子どもに合った家庭学習の取組がなされていますか。	85.7	92.9	87.5				
笑顔いっぱい	⑦ 学校は、基本的な生活習慣に基づいた生活が身につくようにしていますか。	96.5	96.4	90.9	○質問⑧について、昨年度同様で児童の評価は高い一方で、保護者の評価は20%程度低い。児童の「つもり」の意識や、時と場に応じた相手に伝わるあいさつの励行にまで至っていないと推察する。児童のモデルとなるよう、我々大人のあいさつの様相も試されていると認識したい。 ○質問⑩では、児童・教職員の評価が70%台であったが、保護者についてはそれより10%以上高かった。質問④とも相関するが、困った時に「助けて」と言えたり誰かに相談できたりできる対応と体制を進めていく。また、児童が様々なケースで学んだことを他の場面で生かす「汎用性」がもてるよう努めていきたい。	3	3	・⑧についてはもう一歩の面はあるが、数年前より格段によくなっています。 ・学校から離れるとあいさつができない時があると感じます。大人からの声掛けも大切ではないでしょうか。
	⑧ 学校に来られた時に、子どもたちは、明るい声で自らあいさつすることができますか。	92.8	71.5	92.3				
	⑨ 学校は、学級や学校にいる子どもを大切にするようにしていますか。	100	92.8	87.5				
	⑩ 学校は、子ども一人一人の自主性と個性の伸長に努めていますか。	89.3	85.7	87.5				
	⑪ 学校は、子どもが学校生活の中で困っているときに、相談ののって来ていますか。	71.4	85.7	72.7				
元気いっぱい	⑫ 学校は体育の授業や行事(運動会や持久走大会等)をとおして子どもの体力をあげようとしていますか。	89.3	92.9	90.9	○4項目ともに児童・保護者・教職員の評価は8割を超えており、体力向上や健康・安全に関する取組は維持していきたい。 ○体力面について児童の評価が昨年度比で低い。原因として朝のボランティア後の走る機会・時間の減少や外遊びの推奨の減少等が考えられる。今後、子どもたちへの啓発・推奨の在り方を検討していきたい。 ○⑮に関しては、児童の評価が昨年度比で高くなっており、栄養教諭による食育の授業や弁当の日に係る取組の充実度が影響していると分析する。	3	3	・学校でできる事項はしてもらっています。あとは、保護者の取り組み方次第ではないかと思っています。 ・元気に運動してほしいです。
	⑬ 学校は、健康について教えてくれたり、心と体のどちらも健康でいられるようにアドバイスしてくれたりしていますか。	100	89.3	90.9				
	⑭ 学校は安全に過ごせるようにすると共に危ないことがないように安全を守ることを教えてくれていますか。	96.5	92.9	88.8				
	⑮ 学校は、望ましい食生活の習慣ができるように教えてくれたり、アドバイスをしてくれたりしていますか。	100	85.7	81.8				
家庭や地域との連携・協働	⑯ 学校は、通信や学校ホームページなどをつかって、学校の様子を知らせていますか。	—	96.4	—	○⑯は、学校通信や学級通信、生徒指導や保健だより等に加え、学校ホームページの随時更新により、各学級や学校行事の様子等を適宜把握できることが高評価に繋がっていると推察する。 ○⑰については、3回の学校運営協議会での熟議や、各地区行事や地域づくり懇話会への教職員の積極的な参加により好評価を得ていると推察する。また、運動会等の学校行事に加え、年間を通じた PTA 活動、創立150周年事業をとおして保護者・教職員・地域の方々の連携が要因であると推察する。 ○⑱については、椎葉村学を主に、各地区のよさを学ぶ機会の多さや成果を評価いただいたものとする。(前年度比+5.8%)。また⑲の数値は昨年度比+11.5%であり、児童の学校評価結果と相関しているものと分析する。	3	3	・地域住民を多く学校教育に巻き込む工夫をしていただき、ありがとうございます。 ・学校の先生方が地域との関りをもとうとする思いが見てとれます。
	⑰ 学校は、保護者、地域の方々と力を合わせて、学校の教育活動を理解し、学校行事やPTA活動に取り組んでいますか。	—	96.4	—				
	⑱ 学校は、地域の方々と一緒に「椎葉のよさ」について学ぶことができますか。	—	92.9	—				
	⑲ 学校は、子どもが「通いたくなる学校」、保護者や地域が「通わせたい学校」、先生が「働きがいのある学校」となるようにしていますか。	—	85.7	—				
先生方の働きがい	⑳ 教えることにやりがいを感じ、主体的に学び続けることができましたか。	—	—	78.6	○先生方の働きがいは8割前後の結果となっている。先生方の持ち味や強みを発揮できていると推察できる。特に㉑において参画意識の高さから、組織としての力が上がっていると考えられる。これまでに取り組んできた各務部からのボトムアップ型の提案や「わいがや」の雰囲気での協議等の成果がうかがえる。	3	3	・どういった勤務が先生方にとって働き甲斐や幸せが100%になるのだろうか。
	㉑ 「地域とともにある学校づくり」「みんなが幸せな学校づくり」に関わることができましたか。	—	—	85.7				
	㉒ 椎葉小学校に勤務する中で、働きがいや幸せを感じるようになりましたか。	—	—	78.6				

【次年度に向けて】

- 「学力及び学習意欲の向上」…(1)指導内容の精選やICTの効果的な活用による「わかる・できる」学習活動の創出 (2)分からない児童が「教えて」と言える学習環境により、児童自ら学び合う(3) 教職員の授業力向上を目指す校内研修
- 「心の教育」+「安全教育」…(1)椎葉小学校「よい子の一日」に基づいた基本的な生活習慣の育成に努める (2)特別な配慮が必要な児童への支援を組織的・計画的な体制づくりの継続に努める。(3)安全指導の徹底を図り、危険予知能力・危険回避能力の育成に努める。
- 「体力向上と健康教育」…(1)体力向上プランを基に体育指導や体育的行事をとおして体力向上を図る。(2)家庭との連携を図りながら、健康の保持増進と望ましい食習慣を図る。
- 「地域とともにある学校」…学校運営協議会・PTAとの連携を図りながら、各地域行事の参加や地域づくり懇話会の実施により地域住民から「我が学校」と思ってもらう取組を継続する。学校通信・ホームページの更新により適宜情報提供に努める。

